

平成21年度医学図書館協会第80回総会
分科会A 機関リポジトリ:今後の展望



オープンアクセスと機関リポジトリ

2009年7月6日(月)

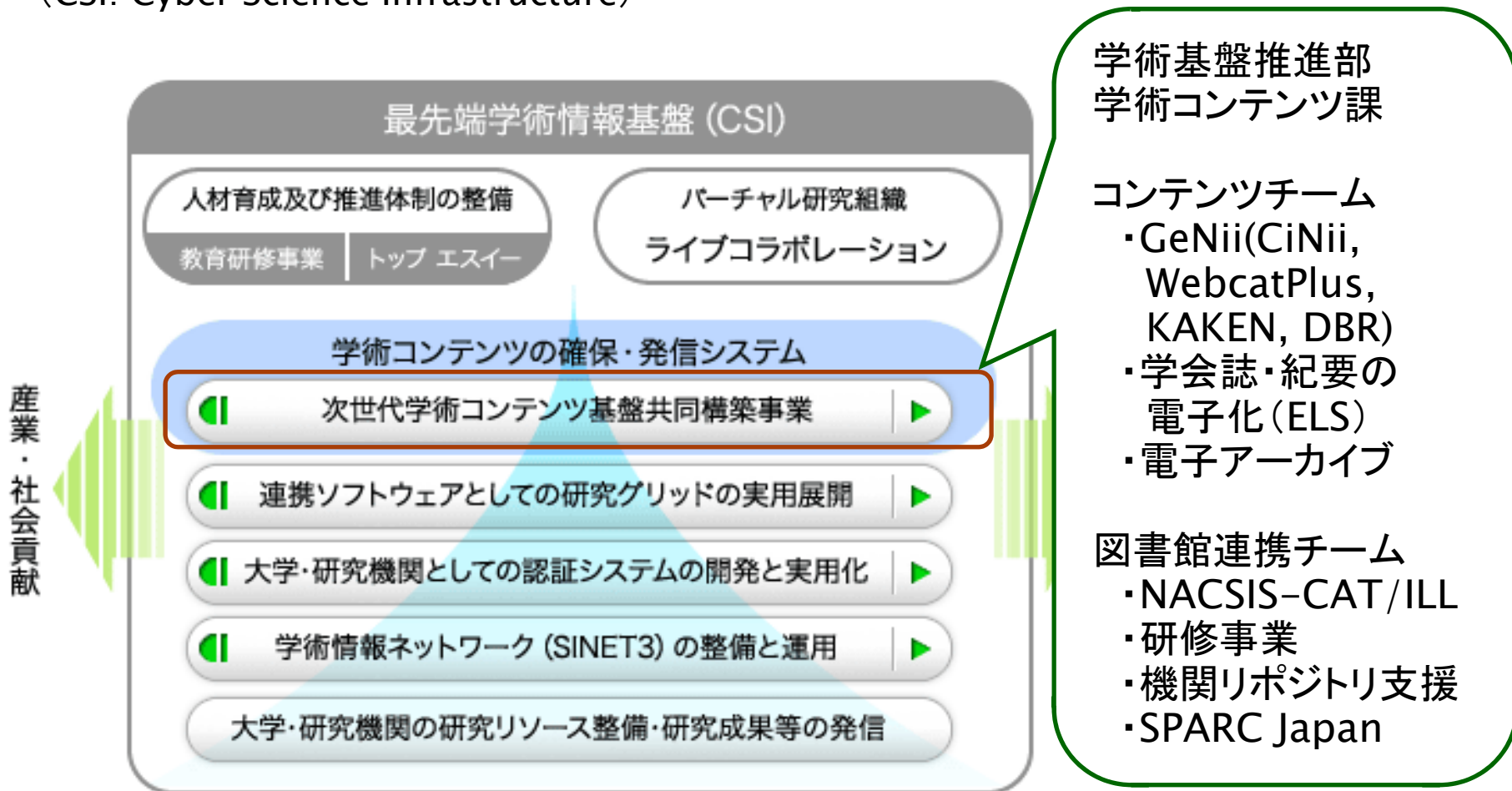


国立情報学研究所 学術基盤推進部
学術コンテンツ課 図書館連携チーム
(IR/SPARC担当) 杉田いづみ
<http://www.nii.ac.jp/irp/>
<http://www.nii.ac.jp/sparc/>
izumi@nii.ac.jp

最先端学術情報基盤(CSI)の推進

■ 大学等学術機関とNIIの連携により推進

(CSI: Cyber Science Infrastructure)



オープンアクセス(OA)とは何か-1

■ オープンアクセスの定義

[究極の理念]

- 「学術情報のアクセスの増大」 Willinsky, J. (2005)
- 人間の基本的権利(知る, 知らしめる)の拡大

[実用的定義]

- 「インターネットから無料で入手でき, 誰もが読むことができ, ダウンロード, 複写, 再配布, 印刷, 検索, クロールを経済的, 法的, 技術的障害なしに行うことができること」
Budapest Open Access Initiative (BOAI; 2002)
→ 2つの手段

出典: 倉田敬子(慶応義塾大学), オープンアクセスの動向

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 (第22回) 平成21年3月26日

オープンアクセス(OA)とは何か-2

■ オープンアクセスの手段

1) 雑誌刊行側によるOA (Gold Road)

- 著者支払オープンアクセス雑誌
- 購読雑誌のウェブ版無料提供
 - フリーアクセス雑誌
 - 電子ジャーナルプラットフォーム (J-STAGE)
 - エンバーゴ (一定期間後無料), サンプル

2) セルフアーカイビングによるOA (Green Road)

- 著者ウェブサイト
- 機関リポジトリ
- PubMed Central, arXiv, 専門分野別アーカイブ
- (無料論文提供サイト)

出典: 倉田敬子 (慶応義塾大学), オープンアクセスの動向

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 (第22回) 平成21年3月26日

NIHのPublic Access Policy

■ 沿革

- 1999年 E-biomed計画: 新たなモデルの提案
- 2000年 既存学術雑誌アーカイブとして開始
- 2004年 政府歳出委員会の勧告
- 2005年 Public Access Policy
 - NIHが助成した研究成果は発表後1年以内にPMCで無料公開を要請
- 2008年 PMCでの1年以内無料公開を義務
 - ⇒ 出版者・学会の反発は強い/一方検討には出版者も参加している
 - ex. Fair Copyright in Research Works Act

出版者が査読した論文の一般公開を、政府の研究助成条件とすることを禁止する著作権法改正案で、NIHパブリックアクセス方針を無効にするもの。

出典: 倉田敬子(慶応義塾大学), オープンアクセスの動向

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 (第22回) 平成21年3月26日

機関リポジトリ(IR)とは何か-1

- 機関リポジトリの定義 (Lynch, Clifford 2003①)
 - a set of **services** that **a university offers to the members** of its community for the management and dissemination of **digital materials created by** the institution and its community members
 - **大学がその構成員に提供する**、大学とその構成員が**創造したデジタル資料**の管理や発信を行うために大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連の**サービス**

出典: DRFワークショップ「機関リポジトリ概論」配付資料 (平成20年10月29日)
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF%2FShaRe-Hiroshima>

機関リポジトリ(IR)とは何か-2

■ 機関リポジトリの定義 (Lynch, Clifford 2003②)

● services

- × 文献のデータベース(の構築)
- 所属研究者との関係作り、概念理解の共有

● a university offers to the members

- × 学外への文献提供サービス
- 構成員への文献公開プラットフォーム提供

● digital materials

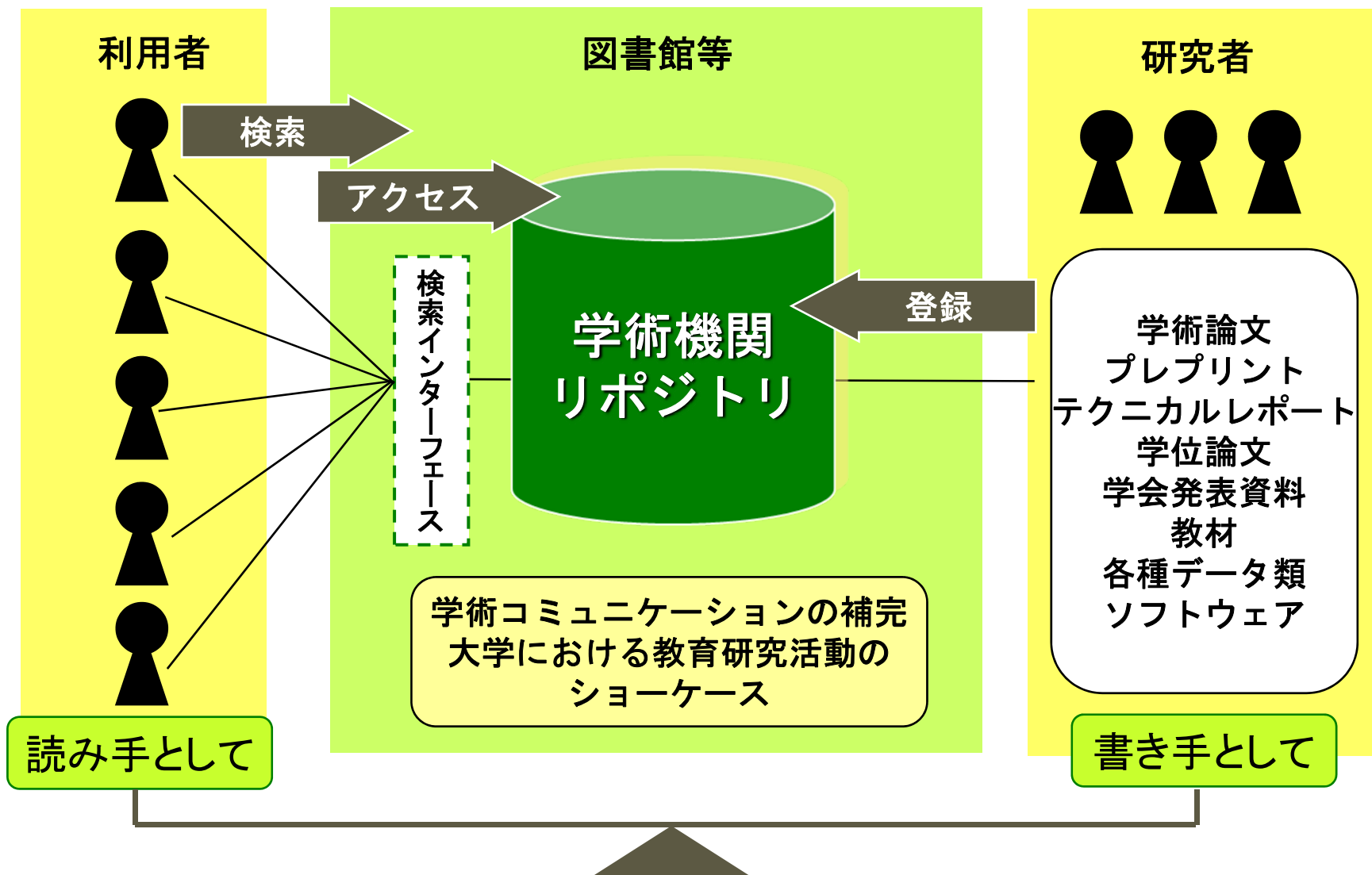
- × メタデータ, ○ フルテキスト

● created by

- × 図書館所蔵資料(いわゆる電子図書館)
- 所属研究者の著作

出典: DRFワークショップ「機関リポジトリ概論」配付資料 (平成20年10月29日)
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF%2FShaRe-Hiroshima>

機関リポジトリ(IR)とは何か-3



■ 学術審議会の言及①

● 背景:

- 研究成果、教育用資料等が最初から電子的形態を持つことが一般化

● 対象と主体:

- 学内で電子的に生産される研究成果物を、大学図書館等が中心となり蓄積保存し、インターネットを通じて利用者の便に広く供する

● 目的:

- 大学からの情報発信力の強化や、大学の社会に対する説明責任の履行の観点から、
- オープンアクセスへの対応という観点からも、有用な手法

出典: 「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」(平成18年3月23日)

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/06041015.htm

■ 学術審議会の言及②

● 大学が取り組む必要性:

教育研究活動の活性化、我が国の学術情報の流通の促進のため、各大学は、学協会との連携を図りつつ、機関リポジトリに積極的に取り組む必要あり。大学図書館は機関リポジトリの構築・運用に中心的役割を果たすことを期待

● 文部科学省の支援:

国立情報学研究所の機関リポジトリ構築・連携支援事業などを通じて支援。

● 著作権についての留意点:

学術論文等の著作権は、出版者が保持している例が多いが、我が国の学術出版は必ずしも権利関係の整理が明確ではない。取扱いには十分留意する必要あり。

● 研究者のインセンティブ:

研究者自らのアーカイブ作成にはインセンティブが不足している。機関リポジトリへの理解の増進と具体的な推進への工夫が必要。

OAとIRの関係(まとめ)

■ OAの手段の一つがIRである

- OAの実現手段はIR以外にもある
- 学術コミュニケーション/ジャーナル出版(商業出版を含む)の在り方に变革をもたらすもの

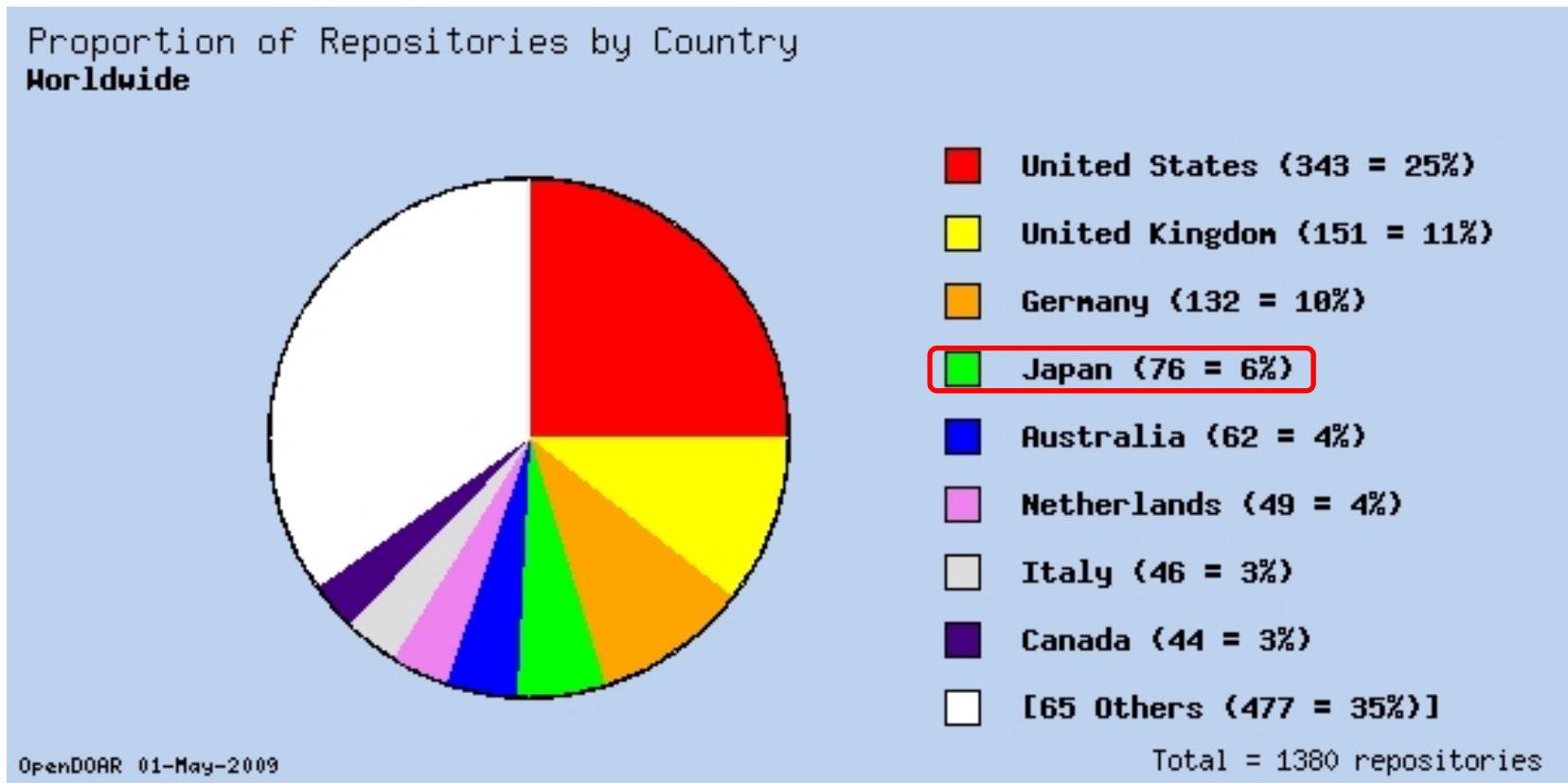
■ IRの目的の一つがOAである

- IRは機関の価値向上をも目的とする
 - ・ 情報発信力の強化・説明責任の履行
 - ・ 大学等学術機関のショーケース
- 学術コミュニケーションを「補完」し、大学発の情報発信(紀要の出版含む)の在り方に变革をもたらすもの

機関リポジトリ:世界の状況

■ 世界で構築されている機関リポジトリ:1380

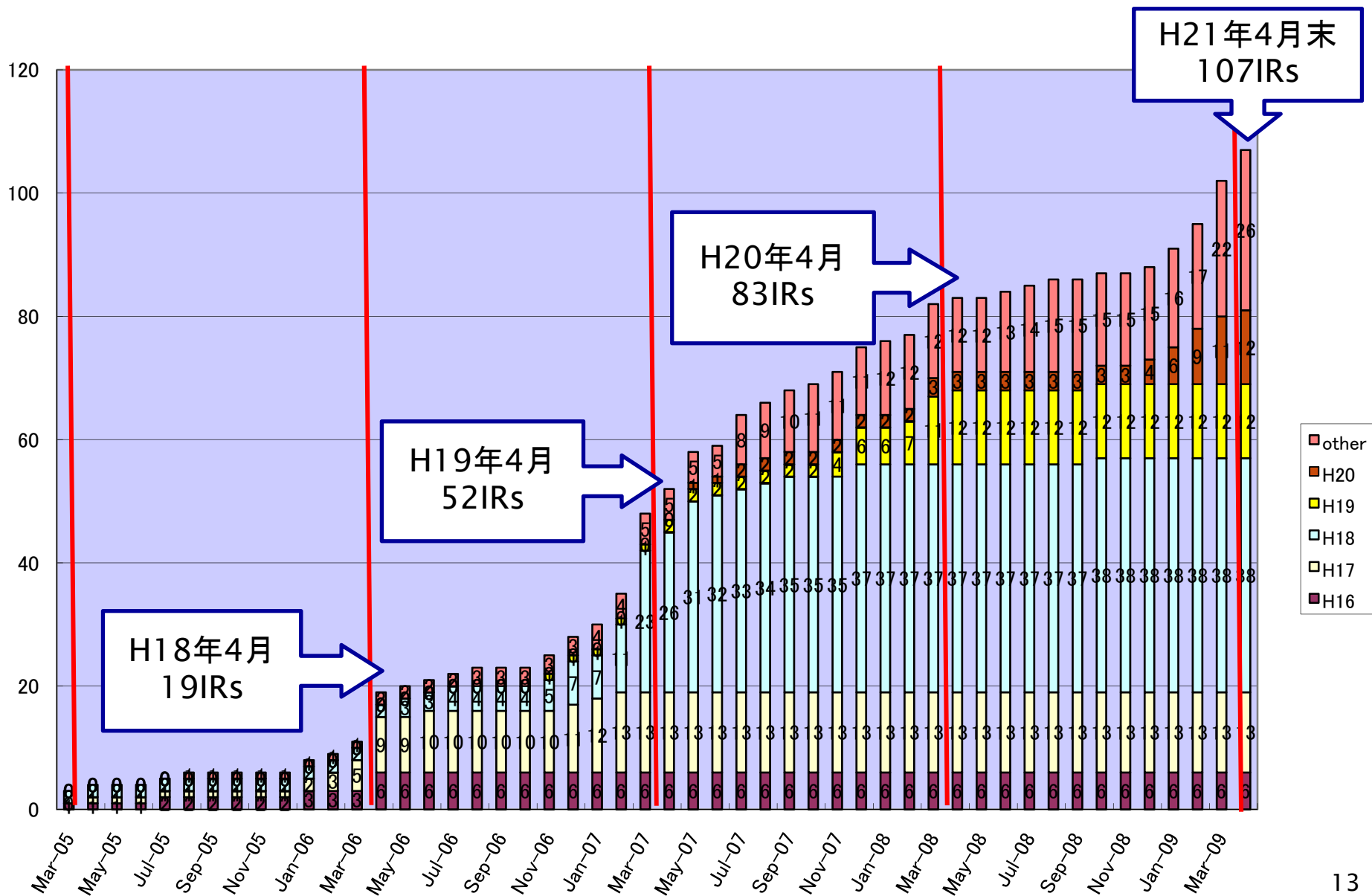
- 日本は76機関が登録済→世界第4位に位置している



出典: Open DOAR: Directory of Open Access Repositories

<http://www.opendoar.org/> (参照:2008/5/1)

機関リポジトリ: 日本の状況-1



機関リポジトリ:日本の状況-2

■ 国内IR 107の内訳 (運営者別;2009年4月30日時点)

- 国立大学IR: 71
 - ・ 内, 2大学はIR内に他大学コンテンツ含む
- 公立大学IR: 2
- 私立大学IR: 24
 - ・ 内, 2大学は岡山大学共同リポジトリ内で運営
- その他の機関(高専, 共同利用研, 独法等): 6
 - ・ 内, 1高専は岡山大学共同リポジトリ内で運営
- 共同リポジトリ: 4
 - ・ 広島県大学共同リポジトリ: HARP
 - ・ 福井県地域共同リポジトリ: CRFukui
 - ・ 山口県大学共同リポジトリ: 維新(試験公開中)
 - ・ 新潟県地域共同リポジトリ: NiRR(試験公開中)

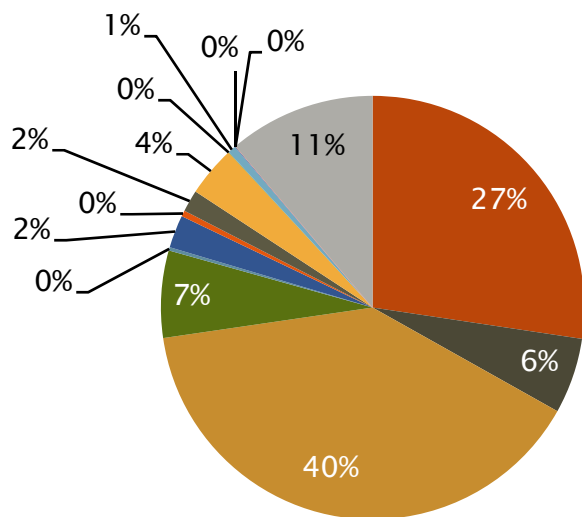
出典:機関リポジトリ一覧 <http://www.nii.ac.jp/irp/list/> (参照:2009/05/01)

機関リポジトリ:日本の状況-3

資料種別ごとの件数

IRDBコンテンツ分析システム (2009年4月30日時点)

リポジトリ数:98, コンテンツ数:626,954件



■ 学術雑誌論文	■ 学位論文	■ 紀要論文
■ 会議発表論文	■ 会議発表用資料	■ 図書
■ テクニカルレポート	■ 研究報告書	■ 一般雑誌論文
■ プレプリント	■ 教材	■ データ・データベース
■ ソフトウェア	■ その他	

資料の種別	コンテンツの数	本文の割合
学術雑誌論文	171,517	33.5%
学位論文	36,262	93.7%
紀要論文	247,993	90.8%
会議発表論文	41,700	16.5%
会議発表用資料	1,630	91.8%
図書	15,680	40.9%
テクニカルレポート	2,853	96.8%
研究報告書	10,460	77.0%
一般雑誌論文	24,100	78.7%
プレプリント	248	93.1%
教材	3,733	35.6%
データ・データベース	463	89.6%
ソフトウェア	8	25.0%
その他	70,307	92.6%
合計	626,954	68.3%

出典: IRDBコンテンツ分析システム <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php> (参照: 2009/05/01)

学術機関リポジトリ構築連携支援事業

■ CSI委託事業 第1期(H17-19), 第2期(H20-21)

- 対象: 大学, 短大, 高専 → 大学共同利用研追加
 - ・ 領域1 (機関リポジトリの更なる普及とコンテンツの拡充)
 - ・ 領域2 (リポジトリ相互の連携による新たなサービスの構築)

■ 機関リポジトリ構築連携: 3つのサポート

- コンテンツ拡充, システム連携, コミュニティ形成

■ システム連携: 3つのツール

- メタデータフォーマット (junii2), 学術機関リポジトリポータル (JAIRO), 機関リポジトリ構築ソフト (WEKO)



Institutional **R**epositories **P**rogram

国内リポジトリ・ポータル:JAIRO

■ 日本のIRのコンテンツを総覧するサイト

- ほぼ全てのメタデータ項目で検索可。
- 機関や資料種別で絞り込み可。
- IRのロゴを表示。
- よく利用されるコンテンツや新着コンテンツを表示。

The screenshot shows the JAIRO website interface. At the top, there are navigation links: お知らせ, JAIROについて, 利用方法, お問い合わせ, and English. The main header features the JAIRO logo and the text "Japanese Institutional Repositories Online". Below the header, there is a search bar with a search button and a dropdown menu for "10件ずつ表示". To the right of the search bar, there are filters for "出版年:新しい順に表示" and "すべて" with a radio button for "本文あり".

The "資料の種別を指定する" section is expanded, showing a list of content types with checkboxes and counts:

<input checked="" type="checkbox"/> 学術雑誌論文 (174,282 件)	<input checked="" type="checkbox"/> 学位論文 (29,674 件)
<input checked="" type="checkbox"/> 紀要論文 (192,684 件)	<input checked="" type="checkbox"/> 会議発表論文 (35,993 件)
<input checked="" type="checkbox"/> 会議発表用資料 (1,150 件)	<input checked="" type="checkbox"/> 図書 (13,918 件)
<input checked="" type="checkbox"/> テクニカルレポート (2,322 件)	<input checked="" type="checkbox"/> 研究報告書 (8,506 件)
<input checked="" type="checkbox"/> 一般雑誌記事 (21,311 件)	<input checked="" type="checkbox"/> プレプリント (145 件)
<input checked="" type="checkbox"/> 教材 (3,511 件)	<input checked="" type="checkbox"/> データ・データベース (454 件)
<input checked="" type="checkbox"/> ソフトウェア (8 件)	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (52,047 件)

Below this, there is a "機関を指定する" section with a "+ 一覧表示" button and a note: "【機関を指定する】タブをクリックすると機関の一覧を表示/非表示することができます。"

On the right side of the page, there is a "JAIROのコンテンツについて" section with a bar chart showing the number of contents over time. Below that, there is a "良く利用されるコンテンツ" section featuring a list of popular items, including a paper by 福田大輔 (DAISUKE FUKUDA) and a paper by 山田功 (ISAQ YAMADA, Tomasz Piotrowski).

<http://jairo.nii.ac.jp/>

CiNii-IR連携

- JAIROのコンテンツのうち，論文系メタデータ（本文あり）を抽出・同定し，CiNiiからリンク表示

CiNii 国立情報学研究所
論文情報ナビゲータ[サイニ]

検索例：インフルエンザ 感染 合併
本文/連携サービスリンクあり

インフルエンザ 感染 合併

論文検索

▶ 詳細検索

すべて CiNiiに本文あり CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

目 [インフルエンザ感染症に合併した横紋筋融解症の1例 \(第36回成医学会柏支部例会一\)](#)
東京慈恵会医科大学雑誌 122(4), 170, 2007-07-15
医中誌 **機関リポジトリ** **SFX** **NII-OPAC**

目 [臨床研究・症例報告 横紋筋融解症,感染性心内膜炎を合併した劇症型インフルエンザ菌性髄膜炎の1女児例](#)
藤木 敦, 柳生 茂希, 山崎 敦子 [他]
小児科臨床 60(5), (710) 933~937, 2007/5
医中誌 **SFX** **NII-OPAC**

目 [ヒトインフルエンザと鳥インフルエンザ : 疫学・合併症・治療法・予防法\(<特集>都民公開講座 かせとインフル](#)
CiNii 堀 賢
... インフルエンザの流行は高齢者集団や、心臓血管系または呼吸器系に慢性基礎疾患のある患者にきわめて重大な影響をもたらす。適切な
り安価にかつ効果的に流行をコントロールできる。インフルエンザの流行を払拭するために様々な取り組みが行われているにもかかわらず、豚
順天堂医学 50(2), 166-173, 20040630
CiNii PDF **医中誌** **SFX** **NII-OPAC** 参考文献28件

<http://ci.nii.ac.jp/>

IRの更なる展開に向けた課題

■ IRの効果の実証

- IRのコンテンツの利用状況・利用統計の標準化
- IRに搭載することで利用/被引用件数が増加するか
- IRのコンテンツが増えればILLは減らせるか

■ 付加価値サービスの提供

- 分野別ポータル(医学系:札幌医科大プロジェクト)
- リンキングサービスの更なる充実
- 教員データベースとの連携

■ 各ステークホルダーとの相互理解・連携

- 学協会著作権ポリシーデータベース(SCPJ)の更なる充実
- 学術雑誌のビジネスモデルの理解
- 研究者の理解
- 政策との関連:義務化(?)⇒受皿の用意

■ 人(予算)の確保・人材育成

IRの更なる展開に向けた希望

■ 必要性・効果はより解り易く

- 機関リポジトリがないと大学はどうなるか
- 人は減る, 仕事は増える中での図書館のミッション

■ システムはより簡単に

- 助けてくれる人がいる・機能的に過渡期でもある
- 自前で持つか, 共同リポジトリか, 外部サービスか
- セルフアーカイブに繋がるシステムの志向

■ コンテンツの収集はより容易に

- 著作権
 - 過去分: ある程度1点ずつ処理せざるを得ないが, 工夫次第で包括許諾も
 - 今後のもの: 学内の制度化, 国の政策としての制度化
- ボーンデジタルなコンテンツの捕捉
- 教育・研究活動の自然な流れでコンテンツを捕捉

■ コミュニティへの積極的参加

お問い合わせは・・・

■ お問い合わせ先・情報入手先

学術機関リポジトリ構築連携支援事業
NII Institutional Repositories Program

リンク集 | English

検索

HOME | ニュース | 事業について | 機関リポジトリ一覧 | 委託事業 | イベント情報 | ドキュメント | お問い合わせ

About Us
事業について 詳細はこちら ▶

機関リポジトリとは、大学とその構成員が創出したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービスです。
国立情報学研究所では、これまでのコンテンツ関連事業の成果を継承、拡充させ、次世代学術コンテンツ基盤の整備に資するために、各大学における機関リポジトリの構築とその連携を支援しています。

Current IRs
機関リポジトリ一覧 詳細はこちら ▶

日本国内で公開されている機関リポジトリ一覧です。

Projects
委託事業 詳細はこちら ▶

国立情報学研究所では多くの大学に機関リポジトリ構築推進のための事業を委託しています。

Contact
お問い合わせ 詳細はこちら ▶

学術機関リポジトリに関するご質問・ご意見はこちらまで。

Events
イベント情報 詳細はこちら ▶

学術機関リポジトリに関するイベント情報です。

Document
ドキュメント

- 基本文献
- 翻訳資料
- コンテンツ提供
- システム情報
- 広報資料
- 調査・報告資料
- 委託事業各種様式

JAIR O 学術機関リポジトリポータルJAIR O

IRDBコンテンツ分析システム IRDBコンテンツ分析システム

国立情報学研究所
学術基盤推進部
学術コンテンツ課
図書館連携チーム
(機関リポジトリ担当)

ir@nii.ac.jp

<http://www.nii.ac.jp/irp/>